

2019年度事業報告書

認定特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML（コムル）

I 事業期間

2019年4月1日～2020年3月31日

II 事業の成果

2016年7月1日に認定NPO法人として認証されたのを機に、団体賛助会員の入会依頼に力を入れてきたが、2018年度は10団体増えて83団体（105口）、今年度は更に16団体増えて99団体（129口）に至っている。また、団体の性質上、会員となれない組織があるため、その場合は寄付をお願いしたところ、複数の寄付も寄せられた。ただし、個人の会員は正会員が2名増えて287名、賛助会員が31名減って416名となっていて、会員増を図ることが引き続き今後の課題である。

講演については2019年12月に中国に端を発した新型コロナウイルス感染拡大の影響が2020年2月から及び始め、相次ぐ講演の中止、延期となり、今年度にも1ヵ月分の講演収入減となった。2018年6月20日に発行した岩波新書『賢い患者』が2019年に第3刷となり、その印税は原稿料収入に含まれている。『賢い患者』は2018年度、2019年度において複数の大学の入試問題や模擬試験の出題に採用され、秋田大学医学部と横浜大学医学部看護学科では指定教科書となった。

日常の活動の柱である電話相談は、今年度5月から東京でも対応を開始した。そのため、日常の相談件数は増える傾向にあるが、集中電話相談COML110番の東京での開催に届いた件数が非常に少なかったため、昨年度と比較すると86件の減少となった。

研修会では、ミニセミナー患者塾、患者と医療者のコミュニケーション講座、医療をささえる市民養成講座、医療関係会議の一般委員養成講座を予定通り開催した。「医療をささえる市民養成講座」を基礎コースとし、それを修了した人を対象にしたアドバンスコース「医療関係会議の一般委員養成講座」の合格者は18名に増え、11～12ページに記載しているように登録会員が就任している会議は年々増える傾向にある。

SP（模擬患者）の活動は、大学医学部で2020年度に診療臨床実習終了後客観的臨床能力試験（Post-CC OSCE）をスタートするにあたり、そのトライアルが実施されていることからニーズが増え、その影響もあって派遣延べ人数は昨年の11名増加・156名から更に増え、37名増の193名であった。

また、病院探検隊の依頼は6件あったのだが、その内5件がハーフ探検隊だったため、前年度と比較して収入は伸び悩んだ。

弁護士の依頼による調査協力のドクターコメントとして第三者の協力医との面談を求めた依頼やカルテ翻訳依頼は、減少する傾向にある。また、この事業は2022年1月以降は中止するため、関係者に周知をおこなったところである。ただ、調査協力は協力医の無償ボランティアの協力という非常に大きな支援によるものであることを例年通り、ここに記しておきたい。

厚生労働省、文部科学省をはじめとした国の検討会、審議会や自治体や各種団体、大学などの委員要請は年々増え続け、今年度は116に至った。委員会の出席回数も173回と2日に1回のペースで政策提言をはじめ、意見具申している。政策提言に積極的にかかわり、幅広い分野の最新の情報が得られるだけでなく、人脈の拡がりの大きな原動力ともなって

いる。依頼があってはじめて実現する役割なだけに、真摯な姿勢で積極的に発言し、医療の発展に寄与していきたいと考えている。ただ、多くの時間を割いている割には、COMLの収入増に直接つながらないことが悩みでもある。また、「COML 委員バンク」のメンバーも人数が増えてきたので、バンクメンバーのブラッシュアップ研修会も充実させ、更なる努力を続けていきたい。

また、今年度は大口の寄付を含め、年間 1000 万円を超える寄付を頂戴した。認定 NPO 法人は公益性の高い法人として多くの寄付を得て活動することが推奨されているだけに、認定 NPO 法人として理想的な形に近づきつつあると考えている。

以上、2019 年度は前述したようなことを中心に活動を進めてきた。年度末の新型コロナウイルス感染の影響を懸念したが、最終的に 2019 年度の会計収支は 6, 206, 994 円の黒字を計上することができた。次年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく及ぶことが確実で、どのような活動がどこまでできるか現時点では予想不可能な事態であるが、できる範囲で活動に取り組んでいきたい。

以上

Ⅲ 事業の実施に関する事項

(1) 会報誌発行・講師派遣等の普及啓発活動

[内容]	依頼された各種団体や医療機関、行政などの依頼に基づき、講演やシンポジウムでCOMLのメッセージを届け、一般の人には「賢い患者」になる必要性和情報提供を、医療者には患者とのコミュニケーションの重要性について普及啓発する。さらにCOMLからのメッセージを会報誌や書籍、小冊子を介して発信すると共に、時代の必要性に応じた意識啓発のためのキャンペーンを実施する。2018年6月に出版した『賢い患者』 XXXXXXXXXX 著・岩波新書の印税も原稿収入に含まれている。
[実施場所]	講演等は招聘された場所。会報誌や書籍等の製作は、大阪市北区西天満3丁目13番9号 西天満パークビル4号館5階(当法人事務所)
[実施日時]	随時
[事業の対象者]	講演等は受講者(派遣回数133回<9回減>)。会報誌はCOML会員や講演受講者に配布。書籍・小冊子は購入者。
[収入]	12,486,494円 (講演収入7,160,387円 原稿収入1,483,108円 書籍・物品収入570,354円 受取送料35,966円 旅費交通費3,236,679円)

*参考：当年度期間内に個人口座に振り込まれた講演謝金は862,426円、原稿料は1,354円で、これは税金分を差し引いた後、次年度に寄付金として本会計に入金します。そのため、(1)の実態講演収入は、8,022,813円、実態原稿料収入は1,484,462円です。

[支出]	13,959,508円 (給料手当 <u>4,155,360円</u> 法定福利費572,160円 旅費交通費2,617,755円(2,412,315円+ <u>205,440円</u>) 通信運搬費1,302,483円 諸謝金239,442円 書籍物品費212,536円 印刷製本費2,712,420円 光熱水料費 <u>162,720円</u> 賃借費 <u>1,415,040円</u> 災害保険料 <u>43,200円</u> 消費税 <u>520,512円</u> 消耗品費5,880円) (下線部は比率ごとに按分した算出分です)
48%	

(2) 電話・手紙・FAX・メール等による医療に関する相談

[内容]	COML電話相談スタッフ(非医療者)が相談に対応し、相談者の気持ちを受け止め、問題整理・解決のための支援やアドバイス、情報提供をおこなう。集中電話相談として医療者の協力を得て「COML110番」も実施
[実施場所]	大阪市北区西天満3丁目13番9号 西天満パークビル4号館5階(当法人事務所) 2019年5月から実施した東京での相談は場所非公開 COML110番東京開催は、東京都文京区本郷7丁目3-1 東京大学医学部附属病院
[実施日時]	大阪：月・水・金 9:00~16:00 土 9:00~12:00

東京：水・木・日 13:00～17:00
COML110 番は、大阪：7月27日（土）～7月28日（日）10:00～18:00、
東京：8月24日（土）～25日（日）10:00～18:00

当年度内の相談総数：1,715件<86件減>

[事業の対象者] 不特定の市民、医療者
[収入] なし
[支出] 2,210,360円
(旅費交通費726,091円 通信運搬費73,771円
諸謝金1,323,000円 消耗品費87,498円)

(3) 研修会・フォーラム・シンポジウム等の開催

①ミニセミナー「患者塾」

[内容] 身近な医療問題をテーマにとりあげ、テーマに沿った体験者・実践者等の話題提供のあと、参加者によるグループディスカッションや質疑応答をおこない、問題意識を高める。

[実施場所] 大阪市北区西天満3丁目13番9号 西天満パークビル4号館5階(当法人事務所)

[実施日時] 237回6月1日「在宅医療を受けたいと思ったら」
238回8月3日「“整骨院”正しくは“接骨院” どんどこか知っていますか？」
239回10月5日「どうやって病院を探していますか？ ～適切な医療機関の選び方」
240回12月7日「高齢者にまつわる薬の困りごと解決しませんか？」
241回2月8日「ACPって、なあに？」

[事業の対象者] 広報による参加者
[①収支の内訳] (収入)73,600円(研修会収入)
(支出)46,996円
(旅費交通費12,000円 通信運搬費4,996円
諸謝金30,000円)

②患者と医療者のコミュニケーション講座

[内容] 患者のコミュニケーション能力を高めるために、ゲームやロールプレイ、ディスカッションなどを通して自らのコミュニケーションの癖や課題に気づくためのワークショップをおこなう。

[実施場所] 大阪市北区西天満3丁目13番9号 西天満パークビル4号館5階(当法人事務所)

東京都文京区本郷7-3-1(東京大学本郷キャンパス)

[実施日時] 大阪：6月29日(土)
東京：12月15日(土)

[事業の対象者] 一般市民・医療従事者
[②収支の内訳] (収入)51,000円(研修会収入)
(支出)25,037円(旅費交通費)

③医療をささえる市民養成講座

[内容] 医療周辺の制度、しくみ、知識などを学び、理解したうえで、自らも賢い患者としてコミュニケーション能力を高め、従来よりもう一步踏み込んで医療に参加する意識を養う。今年度は第11期。

[実施場所] 大阪市北区西天満3丁目13番9号 西天満パークビル4号館5階
(当法人事務所)
東京都文京区本郷7-3-1(東京大学本郷キャンパス)

[実施日時] 大阪日曜コース:4月14日、5月12日、26日、6月9日、23日
東京日曜コース①:7月7日、21日、8月4日、18日、9月1日
東京夏期コース:8月10日、11日、12日、13日、14日
東京日曜コース②:10月6日、20日、11月3日、17日、12月1日
全4コース(20回×3時間開催)

[事業の対象者] 一般市民・医療従事者

[③収支の内訳] (収入)865,250円(研修会収入)
(支出)298,757円
(旅費交通費233,461円 通信運搬費10,748円
消耗品費54,548円)

④医療関係会議の一般委員養成講座

[内容] 基礎コース「医療をささえる市民養成講座」全コースを修了した人を対象に、医療関係の会議で一般委員として冷静かつ客観的な意見を述べられる人を養成する。2回にわたっておこなう模擬検討会で合格した人に「COML委員バンク」の登録資格を付与する。

[実施場所] 東京都文京区本郷7-3-1(東京大学本郷キャンパス)

[実施日時] 12月8日、22日、1月12日、2月1日、9日、23日、3月8日
7回×3時間

[事業の対象者] 一般市民

[④収支の内訳] (収入)825,000円(研修会収入)
(支出)429,680円
(旅費交通費183,999円 通信運搬費5,161円
諸謝金200,000円 消耗品費40,520円)

⑤総会の実施

[内容] 総会に合わせて、拡大患者塾等を開催。

[実施場所] 大阪府中央区大手前1-3-49(ドーンセンター)

[実施日時] 5月18日

[事業の対象者] 正会員(拡大患者塾は賛助会員も)

[⑥収支の内訳] (収入)なし
(支出)64,960円
(旅費交通費13,360円 賃借費5,600円
次期前払賃借費35,000円 消耗品費5,500円)

①～⑤総合して

[収入] 1,814,850円(研修会収入)

[支出] 2,333,770円
(給料手当865,700円 法定福利費119,200円

10%

旅費交通費 510,657 円 (467,857 円 + 42,800 円)
 通信運搬費 20,905 円 諸謝金 230,000 円 光熱水料費 33,900 円
 賃借費 335,400 円 (5,600 円 + 次期前払賃借費 35,000 円
 + 294,800 円) 災害保険料 9,000 円 消耗品費 100,568 円
 消費税 108,440 円)

(下線部は比率ごとに按分した算出分です)

(4) SP (模擬患者) の活動

[内容] 大学医学部・看護学部 (看護学校)・医療機関等の卒後研修などの依頼
 に対して、コミュニケーションセミナーのための患者役として SP を
 派遣する。
 例年開催している関西 SP 交流会を 3 月 14 日に予定していたが、新型
 コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

[実施場所] 指定された場所

[実施日時] セミナー、授業、試験など年間派遣回数 54 回<5 回増>

[事業の対象者] 医学生 6 回<不変>、看護学生 6 回<不変>、その他学生 5 回<不変>、研
 修医 4 回<不変>、医療者卒後研修 5 回<不変>、医療面接練習や試験 26
 回<4 回増>、委員会 2 回<2 回増> 派遣延べ人数 193 名<37 名増>

[収入] 3,795,480 円
 (SP 活動収入 2,945,800 円 SP 活動未収入金 99,000 円
 旅費交通収入 737,800 円 旅費交通未収入金 12,880 円)

[支出] 4,435,410 円
 (給料手当 1,385,120 円 法定福利費 190,720 円
 旅費交通費 1,131,606 円 (1,063,126 円 + 68,480 円)
 通信運搬費 43,296 円 諸謝金 965,000 円 消耗品費 5,844 円
 光熱水料費 54,240 円 賃借費 471,680 円 災害保険料 14,400 円
 消費税 173,504 円)

16%

(下線部は比率ごとに按分した算出分です)

(5) 病院探検隊の実施

[内容] 依頼のあった医療機関に対して病院探検隊員を派遣し、自由見学・案
 内による見学・(医療機関の要請に応じて) 受診をおこなう。医療機関
 の職員とのディスカッションをおこない、感想・意見等をフィードバ
 ックする。後日、レポートを医療機関に提出する。5~6 名を派遣し、
 自由見学と受診という縮小した形でおこなうハーフ病院探検隊もメニ
 ューとして用意し、病院探検隊を希望する医療機関が選択する。

[実施場所] 依頼のあった医療機関

[実施日時] 派遣回数 6 回<1 回減>
 医療法人財団医親会 マリンクリニック (9 月 3 日・ハーフ探検隊)
 公益財団法人操風会 岡山旭東病院 (9 月 17 日・ハーフ探検隊)
 医療法人財団医親会 りんくうタウンクリニック (10 月 9 日・ハー
 フ探検隊)
 医療法人瑞頌会尾張温泉かにかえ病院 (10 月 31 日・ハーフ探検隊)

医療法人財団医親会 OBP クリニック (11月13日・ハーフ探検隊)
地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪母子医療センター(1月17日)

[事業の対象者] 医療機関の職員
[収入] 1,125,370円
(病院探検隊収入 876,000円 旅費交通収入 249,370円)
[支出] 1,080,576円
(給料手当 432,850円 法定福利費 59,600円
旅費交通費 280,056円 (258,656円 + 21,400円)
諸謝金 85,000円 光熱水料費 16,950円 賃借費 147,400円
災害保険料 4,500円 消費税 54,220円)
(下線部は比率ごとに按分した算出分です)

5%

(6) 弁護士等の依頼による調査協力

[内容] 医療を受けて納得いかない結果に陥った患者・家族からの法的解決依頼を引き受けた弁護士からの依頼で、カルテ翻訳や協力医による検証のためのコーディネートをおこなう。
[実施場所] 大阪市北区西天満3丁目13番9号 西天満パークビル4号館5階(当法人事務所)、あるいは協力医の指定した場所
[実施日時] 随時(カルテ翻訳受付 38回<35回減>
協力医と弁護士の面談 20回<8回減>)
[事業の対象者] 弁護士
[収入] 2,561,563円(調査協力収入)
(調査協力収入 2,451,563円 調査協力未収入金 110,000円)
[支出] 2,524,714円
(給料手当 1,125,410円 法定福利費 154,960円
旅費交通費 86,360円 (30,720円 + 55,640円)
通信運搬費 70,989円 諸謝金 507,013円 光熱水料費 44,070円
賃借費 383,240円 災害保険料 11,700円 消費税 140,972円)
(下線部は比率ごとに按分した算出分です)

13%

(7) 委員派遣等の政策提言活動

[内容] 医療機関や地方自治体から外部委員の要請を受け派遣したり、マスメディアからの出演依頼、取材依頼などに応じたりする。委員としての検討会・審議会等会議への出席回数は公表できるものだけで173回<不変>。ただし、会議への出席等の謝金の中で個人宛に支給されるものは下記「委員会謝礼」に含まれず、いったん個人口座に入金してプールし、税金処理終了後に寄付金収入として本会計に入金するシステムを採っている。
[実施場所] 依頼のあった場所
[実施日時] 随時
[事業の対象者] 依頼者
[収入] 5,659,103円

(その他謝金 1,599,874 円<内訳：委員会謝礼 426,184 円・
協力謝金 899,590 円・取材謝礼 274,100 円>
旅費交通収入 4,059,229 円)

*参考：当年度期間内に個人口座に振り込まれた委員会謝礼総額は 2,800,621 円、
取材謝礼 4,890 円で、これは税金分を差し引いた後、次年度に寄付金とし
て本会計に入金します。そのため、実態委員会謝礼総額は 3,226,808 円で
(7)の実態合計収入は、8,464,614 円です。

[支出] 3,894,840 円
(給料手当 692,560 円 法定福利費 95,360 円
8% 旅費交通費 2,750,008 円 (2,715,768 円+34,240 円)
光熱水料費 27,120 円 賃借費 235,840 円 災害保険料 7,200 円
消費税 86,752 円)
(下線部は比率ごとに按分した算出分です)

(8) その他

(1～7に特化できない横断的な支出。旅費交通費は出張手当、通信運搬費は切手代)

[支出] 1,278,425 円
(旅費交通費 1,194,000 円 通信運搬費 84,425 円)

●2019 年度に COML として就任していた審議会・検討会・委員会・役員など (114)
<国>41

厚生労働省社会保障審議会医療部会
文部科学省課題解決型高度医療人養成推進委員会
文部科学省歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議
厚生労働省医療介護総合確保促進会議
厚生労働省歯科医師の資質向上等に関する検討会
厚生労働省歯科医師の資質向上検討会専門性ワーキンググループ
厚生労働省異状死死因究明支援事業選定委員会
厚生労働省独立行政法人評価に関する有識者会議
厚生労働省医療従事者の需給に関する検討会
厚生労働省医師需給分科会
厚生労働省看護職員需給分科会
厚生労働省理学療法士作業療法士需給分科会
厚生労働省医療情報の提供に係る制度のあり方検討会
文部科学省課題解決型高度医療人材養成推進委員会
厚生労働省医療計画の見直し等に関する検討会
厚生労働省全国在宅医療会議
厚生労働省全国在宅医療会議ワーキンググループ
厚生労働省厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会
厚生労働省今後の医師養成の在り方と地域医療に関する検討会
厚生労働省厚生科学審議会臨床研究部会

厚生労働省特定機能病院管理者研修事業評価委員会
 厚生労働省医薬・生活衛生局安全対策調査会（タミフル等）
 厚生労働省かかりつけ医に対する患者ニーズに関する調査検討会
 厚生労働省情報通信機器を用いた診療に関するガイドライン作成検討会
 厚生労働省医療等分野情報連携基盤技術ワーキンググループ
 厚生労働省看護基礎教育検討会
 厚生労働省特定機能病院におけるピアレビュー推進事業事業者選定評価委員会
 厚生労働省あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師及び柔道整復師等の広告に関する検討会
 厚生労働省全国在宅医療会議ワーキンググループ国民の普及啓発小グループ
 厚生労働省医道審議会医師分科会臨時委員会（医師専門研修部会）
 厚生労働省オンライン診療の適切な実施に関する指針の見直しに関する検討会
 厚生労働省科学研究費・政策科学総合研究事業「医療における AI 関連技術の利活用に伴う倫理的・法的・社会的課題の研究」研究班
 厚生労働省独立行政法人評価に関する有識者会議地域医療機能推進ワーキンググループ
 厚生労働省医道審議会医師国家試験改善検討会
 厚生労働省医道審議会歯科医師国家試験改善検討会
 厚生労働省医療等情報の連結推進に向けた被保険者番号活用の仕組みに関する検討会
 厚生労働省 NDB を活用した全国医療機能情報提供制度・全国薬局機能情報提供制度に関する調査研究一式検討委員会
 厚生労働省医療等に係るウェブサイトの調査・監視体制強化事業における医療広告協議会
 厚生労働省ゲノム編集技術等を用いたヒト受精卵の臨床利用のあり方に関する専門委員会
 厚生労働省 PHR 検討会
 厚生労働省医道審議会医師専門研修部会サブスペシャリティ領域の在り方に関する WG

<地方行政関係>10

大阪府薬事審議会
 大阪府医療対策協議会
 大阪府地域医療支援センター運営事業委員会
 東京都立病院経営委員会
 大阪府感染症対策懇話会委員会
 大阪府医療費適正化計画推進審議会
 東京都地域医療構想調整部会
 大阪府死因調査等協議会
 奈良県「面倒見のいい病院」指標検討会
 東京都地域で安心して医療を受けられる環境づくり検討部会

<公的民間機関>21

公益財団法人日本医療機能評価機構 EBM 医療情報事業運営委員会
 公益財団法人日本医療機能評価機構産科補償制度運営委員会
 公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構理事会
 公益財団法人日本医療機能評価機構医療事故運営委員会
 歯科医師臨床研修マッチング協議会運営委員会委員会
 公益財団法人日本医療機能評価機構 EBM 医療情報部患者・市民支援部会
 大阪府看護協会事業運営委員会

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) アドバイザリーボード委員会
一般社団法人日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援事業運営委員会
一般社団法人日本医学教育評価機構 (JACME) 理事会
公益財団法人日本医療機能評価機構評価事業推進部評価項目改定部会
一般社団法人日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援事業再発防止委員会
一般社団法人全国訪問看護事業協会理事会
日本製薬工業協会患者団体アドバイザリーボード委員会
公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験委員会
公益財団法人日本医療機能評価機構診療ガイドラインと費用対効果の在り方検討会
独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA) MID-NET 有識者会議
国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 「患者・消費者向けの医薬品等情報の提供のあり方に関する研究」班
独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 運営評議会専門委員会 (審査・安全業務委員会)
日本医療安全調査機構医療事故調査・支援事業制度の普及・定着促進方策 WG
日本医療安全調査機構医療事故調査・支援事業センター調査に関する課題検討 WGB

<医療機関>36

地方独立行政法人神戸市民病院機構評価委員会
耳原総合病院研修管理委員会
京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会
滋賀医科大学医学部附属病院初期臨床研修管理委員会
市立豊中病院運営審議会
滋賀医科大学コア生涯学習型高度専門医養成プログラム評価委員
京都大学特定認定再生医療等委員会
大阪大学未来医療研究人材養成拠点形成事業「地域に生き世界に伸びる総合診療医養事業」外部評価委員会
京都府立医科大学特定認定再生医療等委員会
慶應義塾大学病院病院機能改革アドバイザー会議
近畿大学医学部附属病院臨床倫理委員会
慶應義塾大学病院医療安全外部監査委員会
自治医科大学病院医療安全外部監査委員会
京都大学医学部附属病院医療安全外部監査委員会
北里大学病院医療安全外部監査委員会
東海大学医学部附属病院医療安全外部監査委員会
近畿大学医学部附属病院医療安全外部監査委員会
杏林大学医学部附属病院医療安全外部監査委員会
大阪大学医学部附属病院医療安全外部監査委員会
岐阜大学医学教育開発研究センター運営協議会
京都大学医学部認定臨床研究審査委員会
京都大学社会健康医学系選考 (SPH) アドバイザリーボード委員会
昭和大学医学部カリキュラム検討委員会
東京医科大学病理診断報告書検討委員会
京都大学大学院社会健康医学系専攻外部アドバイザリーボード委員会
千葉大学医学部附属病院有識者懇談会

群馬大学医学部附属病院病院長候補者選考委員会
慶應義塾大学病院病院長選考委員会
東京大学大学院研究課題「デルファイ法による日本の都市部の総合診療医・家庭医のコンピテンシーの検討」
島根大学医学部附属病院臨床研究として行う先進医療に関する適正化委員会
国立大学法人京都大学医学部附属病院業務監督会議
大阪大学医学部附属病院管理運営専門委員会
京都大学医学部附属病院業務監督会議
北里大学研究所病院研究調査委員会
耳原総合病院倫理委員会
耳原総合病院治験審査委員会

<医療団体>6

戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）委員会
日本疫学会倫理審査委員会
一般社団法人日本看護研究学会研究倫理審査委員会
一般社団法人 くすりの適正使用協議会共同ステートメント委員会
一般社団法人日本内視鏡外科学会倫理・渉外委員会
日本プライマリ・ケア連合学会新家庭医療専門医に関するアドバイザー会議

非常勤講師 12

山口大学医学部
佐賀大学医学部
浜松医科大学
大分大学医学部看護学科
広島大学歯学部
富山大学医学部
京都薬科大学
京都府立医科大学
東北医科薬科大学
大阪薬科大学
関西医科大学
新潟大学医学部

●「COML 委員バンク登録会員」が就任している委員会

厚生労働省社会保障審議会医療分科会
厚生労働省健康・医療・介護情報利活用検討会
厚生労働省 医療の質の評価・公表等推進事業評価委員会
厚生労働省 医療の質向上のための体制整備事業評価委員会
厚生労働省薬局ビジョン推進事業選定審査委員会
厚生労働省薬事・食品衛生審議会
厚生労働省地域における薬剤師・薬局の機能強化及び調査・検討事業選定審査委員会
厚生労働省科学研究費・政策科学総合研究事業「医療における AI 関連技術の利活用に伴う倫理的・法的・社会的課題の研究」研究班（2名）

国立循環器病研究センター 倫理指針不適合に係る第三者委員会
国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院臨床研究審査委員会
国立研究開発法人国立がん研究センター研究倫理審査委員会
大阪大学医学部附属病院 介入・観察倫理審査委員会
大阪大学第一特定認定再生医療等委員会
大阪大学認定再生医療等委員会
京都大学特定認定再生医療等委員会
京都大学臨床研究審査委員会
京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会
大阪府地方独立行政法人大阪府立病院機構評価委員会
大阪府医療相談等連絡協議会
大阪市地方独立行政法人大阪市民病院機構評価委員会
プライバシーマーク審査委員会
京都府立医科大学医学倫理審査委員会
京都府立医科大学臨床研究審査委員会

以上

IV 総会の開催状況

[名称]	特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML（コムル）第19回総会
[日時]	2019年5月18日（土）13:32～14:20
[場所]	ドーンセンター大会議室（大阪市中央区大手前1-3-49）
[社員総数]	283名
[出席者数]	211名（うち委任状出席者数184名）
[議案の内容]	議長、議事録署名人の選出 第1号議案 定款の一部変更 第2号議案 2018年度事業報告書と事業活動計算書の承認 第3号議案 2019年度事業計画書と事業活動予算書の承認
[審議結果]	議長を互選したところ、宮本恒彦が選ばれ、議長を務めた。議長より、上農哲朗と久保鈴子の2名を議事録署名人に指名し、出席者全員の賛成にて承認し、本案が可決された。

第1号議案

2016年7月1日に「認定NPO法人」として認証されたものの、正式書類で「認定」と称するには定款の変更が必要となる。定款第23条により、定款の変更は総会での審議が必要である旨説明し、次のような定款の変更を提案した。

第1章総則の「名称」について「第1条 この法人は、特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML（コムル）といい、登記上はこれを特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターコムルと表記する」を「第1条 この法人は、認定特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML（コムル）といい、登記上はこれを認定特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターコムルと表記する」とすることについて審議したところ、出席者全員の賛成にて承認され、本案は可決された。

第2号議案 2018年度事業報告と事業活動計算書の承認

議長の指示にて、[]より、2018年度事業報告と事業活動計算書の内容を説明した。議長は参加者に質問を促した後、採決したところ、出席者全員の理解を得、事業報告と活動決算書は承認された。

第3号議案 2019年度事業計画と事業活動予算書の承認

議長の指示にて、[]より、2019年度事業計画と事業活動予算書の内容を説明した。議長は参加者に質問を促した後、採決したところ、出席者全員の理解を得、事業計画と活動予算書は承認された。

V 理事会の開催状況

2019年度第1回理事会

- [日時] 2019年4月20日(日) 14:00~16:47
- [場所] 当法人事務所
- [出席者数] 理事8名出席(2名欠席)
- [議案の内容]
1. 2018年度決算と事業報告
 2. 2019年度予算と事業計画
 3. 定款の変更について
 4. その他
- [審議結果]
1. 各内容について審議し、総会への提出内容を決定した。
 2. 各内容について審議し、総会への報告内容を決定した。
 3. 2016年7月1日に認証された「認定NPO法人」を正式名称として使用するため定款の変更を総会で諮る必要性を提案し、出席した理事全員から承認が得られ、総会への議題提出が決定した。
 4. 個人収入扱いの寄付金控除を申請するかどうか審議したが、申請した場合としない場合との違いがわからないという意見が出たため、税理士に試算を依頼するため、継続審議になった。また、活動の進捗状況や2020年の30周年記念行事などについて話し合った。

2019年度第2回理事会

- [日時] 2019年11月23日(祝) 13:55~15:55
(当初10月13日の予定だったが台風19号の影響で順延)
- [場所] 当法人事務所
- [出席者数] 理事7名出席(3名欠席)
- [議案の内容]
1. 2019年度上半期の会計報告
 2. 2019年度上半期の活動報告
 3. 『新 医者にかかる10箇条』『いのちとからだの10か条』について
 4. ホームページのスマホ対応
 5. 東京事務所開設に向けて
 6. 2020年度30周年記念行事について
- [審議結果]
1. 2018年度上半期の会計報告をおこない、上半期で大幅な赤字になっている現状を踏まえ、団体賛助会員や寄付金増の働きかけをすることになった。
 2. 上半期におこなった活動のポイントについて報告した。
 3. 『新 医者にかかる10箇条』と『いのちとからだの10か条』のクリアファイル化することが決まり、価格は次回理事会における継続審議になった。また小冊子は20年以上価格が100円で据え置きになっていて、印刷代や消費税が上がっていることを受け、両冊子とも1冊200円、50冊以上は1冊180円に2020年度から値上げすることになった。
 4. 時代の要請を受けて、ホームページのスマホ化を2020年度の予算計上で取り組むこととなった。
 5. 2022年1月の東京事務所開設(事務局機能移転)に向けての進捗状況を報告すると共に、定款第23条(8)「その他運営に関する重要事項」であることから、2020年度総会の審議事項にすることに決定

した。

6. 2020 年度 30 周年記念行事として、総会後の「30 周年記念自主上映会」「30 周年記念パーティ」について内容を決定した。

2019 年度第 3 回理事会

- [日時] 2020 年 1 月 11 日 (土) 12:00~13:34
- [場所] 当法人事務所
- [出席者数] 理事 9 名出席 (1 名欠席)
- [議案の内容]
1. 報告事項
 2. 東京事務所開設について
 3. 『新 医者にかかる 10 箇条』『いのちとからだの 10 か条』のクリアファイル価格について
- [審議結果]
1. 大口の寄付の申し出やホームページスマホ化の見積もり額、東京事務所移転後の印刷会社との継続取引にまつわることなどを報告した。
 2. 2022 年 1 月に開設予定の東京事務所について、スケジュールと費用について審議した。それに伴い、大阪での相談活動は 2020 年 8 月に縮小する事務所ではなく、レンタルオフィスを活用することが決まった。また、東京事務所開設によって既に決定している事務局長以外に、もう一人スタッフ候補者に打診することが決まった。
 3. 1 枚 150 円、100 枚以上 1 枚 100 円で販売することになった。

以上

2019年度特定非営利活動に係る事業活動計算書

認定特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML(コムレ)

2019年4月1日から2020年3月31日

(単位:円)

科 目	2019年度年間予算額	2019年度決算額	差 異
I 収入の部			
1 会費収入			
正会員会費収入	2,000,000	1,704,000	296,000
賛助会員会費収入	5,500,000	5,522,000	△ 22,000
特別会員会費収入	1,800,000	1,780,000	20,000
2 事業収入			
調査協力収入	2,000,000	2,561,563	△ 561,563
講演収入	10,000,000	7,160,387	2,839,613
原稿収入	1,500,000	1,483,108	16,892
SP派遣収入	3,000,000	3,044,800	△ 44,800
書籍・物品収入	500,000	570,354	△ 70,354
研修会収入	2,002,000	1,814,850	187,150
病院探検隊収入	1,620,000	876,000	744,000
その他謝金収入	1,500,000	1,599,874	△ 99,874
旅費交通費収入	7,200,000	8,295,958	△ 1,095,958
受取送料	30,000	35,966	△ 5,966
3 寄付金収入			
寄付金収入	5,059,000	10,459,880	△ 5,400,880
4 雑収入			
受取利息		2,170	△ 2,170
雑収入		0	0
当期収入合計(A)	43,711,000	46,910,910	△ 3,199,910
前期繰越金収支差額	39,820,337	39,820,337	
収入合計(B)	83,531,337	86,731,247	△ 3,199,910

科 目	2019年度年間予算額	2019年度決算額	差 異
Ⅱ 支出の部			
1 事業費			
給料手当	9,800,000	8,657,000	1,143,000
法定福利費	1,260,000	1,192,000	68,000
旅費交通費	10,351,000	9,296,533	1,054,467
通信運搬費	1,460,000	1,595,869	△ 135,869
印刷製本費	3,010,000	2,828,910	181,090
賃借費	3,020,000	2,988,600	31,400
諸謝金	3,260,000	3,349,455	△ 89,455
書籍物品費	150,000	212,536	△ 62,536
図書研修費費	15,000	0	15,000
光熱水料費	315,000	339,000	△ 24,000
災害保険料	14,000	90,000	△ 76,000
消耗品費	185,000	199,790	△ 14,790
消費税	1,200,000	1,084,400	115,600
2 管理費			
給料手当	4,200,000	3,710,891	489,109
法定福利費	540,000	511,972	28,028
福利厚生費	300,000	192,000	108,000
旅費交通費	60,000	184,411	△ 124,411
通信運搬費	400,000	393,610	6,390
消耗品費	1,200,000	964,611	235,389
光熱水料費	135,000	146,651	△ 11,651
賃借費	1,260,000	1,264,168	△ 4,168
災害保険料	6,000	39,650	△ 33,650
租税公課	80,000	71,515	8,485
支払手数料	450,000	433,153	16,847
諸会費	60,000	43,200	16,800
交際費	10,000	27,500	△ 17,500
減価償却費	200,000	120,061	79,939
雑費	0	0	0
3 固定資産取得支出			
4 特定預金支出			
退職給与引当預金支出	770,000	766,430	3,570
5 予備費			
予備費	0	0	0
当期支出合計(C)	43,711,000	°40,703,916	3,007,084
当期収支差額(A)-(C)	0	°6,206,994	
次期繰越収支差額(B)-(C)	39,820,337	°46,027,331	

2019年度貸借対照表

認定特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML(コムル)

2020年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	102,588		
普通預金	22,237,247		
定期預金	20,000,000		
未収入金	221,880		
棚卸資産	853,346		
流動資産合計		° 43,415,061	
2 固定資産			
什器備品	180,095		
電話加入権	377,832		
事務所賃貸保証金	2,845,980		
退職給与引当特定預金	7,524,270		
固定資産合計		° 10,928,177	
資産合計			° 54,343,238
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	144,737		
未払法人税等	70,000		
未払消費税	576,900		
流動負債合計		° 791,637	
2 固定負債			
退職給与引当金	7,524,270		
固定負債合計		° 7,524,270	
負債合計			° 8,315,907
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		39,820,337	
当期正味財産増加額		6,206,994	
正味財産合計			° 46,027,331
負債及び正味財産合計			° 54,343,238

2019年度会計財産目録

認定特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML(コムル)

2020年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	102,588		
普通預金			
三菱UFJ銀行	17,007,469		
三菱UFJ銀行	5,197,720		
三井住友銀行	26,487		
りそな銀行	5,571		
定期預金			
三井住友銀行	10,000,000		
りそな銀行	10,000,000		
未収入金	221,880		
書籍等	853,346		
流動資産合計		°43,415,061	
2 固定資産			
什器備品	180,095		
電話加入権	377,832		
事務所賃貸保証金	2,845,980		
退職給与引当特定預金	7,524,270		
固定資産合計		°10,928,177	
資産合計			°54,343,238
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	144,737		
未払法人税等	70,000		
未払消費税	576,900		
流動負債合計		°791,637	
2 固定負債			
退職給与引当金	7,524,270		
固定負債合計		°7,524,270	
負債合計			°8,315,907
正味財産			°46,027,331

役員名簿

就任期間 2019年4月1日～2020年3月31日

認定特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML（コムル）

役職名	ふりがな 氏名	報酬の有無
理事長	やまぐち いくこ 山口 育子	無
理事	あおき きみこ 青木 貴美子	無
理事	かみのう てつろう 上農 哲朗	無
理事	くさば てっしゅう 草場 鉄周	無
理事	くぼ すずこ 久保 鈴子	無
理事	さかうえ こういち 坂上 晃一	無
理事	たくま きよあき 田熊 清明	無
理事	ふるこ しんや 古府 伸也	無
理事	みやもと つねひこ 宮本 恒彦	無
理事	あけみ 脇坂 明美	無
監事	まつもと とういち 松本 藤一	無

前事業年度末実における社員のうち10人以上の者の氏名及び住所又は居所を記載した書面

認定特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML（コムル）

2020年3月31日現在

	氏 ^り 名
1	やまぐち いくこ 山口 育子
2	あおき きみこ 青木 貴美子
3	かみのう てつろう 上農 哲朗
4	くさば てっしゅう 草場 鉄周
5	さかうえ こういち 坂上 晃一
6	たかもり かつこ 高森 勝子
7	にし かずこ 西 和子
8	おがわ まさくに 小川 昌邦
9	ふじもと やすこ 藤本 安子
10	ふるこ しんや 古府 伸也
11	みやもと つねひこ 宮本 恒彦
12	たかはし いちろう 高橋 一郎
13	むらかみ あさこ 村上 朝子
14	すぎもと れいこ 杉本 麗子
15	はまばた くみ 浜端 久美
16	もり あやの 森 彩乃

17	くぼ すずこ 久保 鈴子	[REDACTED]
18	よしだ みか 吉田 三嘉	
19	たぐま きよあき 田熊 清明	
20	わきさか あけみ 脇坂 明美	